

ほ におい 穂 香 タイムス <9月号>

9月は、各地で様々な秋のイベントが開かれ、賑わいをみせています。

9月4日には、「第7回北方領土まで歩こう会」が開催され、1,084人の参加者がノサップ岬をめざし、それぞれの島（国後島、水晶島、貝殻島）までの距離を歩きました。

参加者の皆さんは、改めて島までの近さを実感されたようです。



ゼッケンに北方領土返還の
メッセージを心をこめて



署名コーナーにも
たくさんの方が



さあ、みんなで頑張るぞ!



ほぼ全員が力強くそれぞれのコースを完歩しました。お疲れ様でした。

北方四島交流センター

ニ・ホ・ロの最近の出来事

「ビザなし交流 ロシアファミリー・青少年受入写真展 2011」

開催中です（9月30日まで）



本年度6月来訪したビザなしファミリー訪問団と7月に来訪した青少年訪問団の受入写真展をニ・ホ・ロ ロビーにて開催しております。サッカーや華道、学校訪問やホームビジットなど様々な交流シーンをとらえております。ぜひご覧ください。

「平成23年度第2回ロシア料理講座 受講者募集中！」



本年度第2回目となる「ロシア料理講座」を10月16日（日）10：00～正午の日程で開催します。今回のメニューは、「ラブシャー、そばのカーシャ、ポジャルカ（肉の煮込み）、ロシア風コンポート、バランキ（焼き菓子）」です。前回同様、根室市内在住のロシア語講師のペリョズキナ先生を講師に迎え開催します。申し込みはニ・ホ・ロまで。定員は20名です。

日ロ関係や北方領土関係の本・資料が入りました。



以下の本や資料が入りました。

「近世後期の奥蝦夷地史と日露関係（川上淳）」、「黒船前夜（渡辺京二）」、「やってくれるね、ロシア人（亀山哲郎）」、「囁きと密告 上下（オーランドー・ファイジズ）」、「語りつぐ北海道空襲補遺Ⅱ 悲しみの夏（北海道空襲を記録する会）」、「古文書解読選 第二集 大橋並八郎著 奥の松風（札幌歴史懇話会発行）」

※ いずれもニ・ホ・ロ図書資料室で閲覧可能です。

北方領土問題青少年・教育指導者現地研修会が開催されました。

8月19・20日、北方領土問題対策協会が主催する「平成23年度 北方領土問題青少年・教育指導者現地研修会」が、二・ホ・ロを含む根室市内の会場で開催されました。



北海道から沖縄に至る全国から参加された教育指導者61名は、二ホロにおいて、地理・歴史・公民の3班に分かれて授業構成案づくりを班ごとに進め、発表を行いました。新聞記事や写真などの資料も使いながら、よりわかりやすく工夫した授業構成案が数多く紹介されており、今後の活用が期待されるようです。

また、別会場では全国の中・高生60名による、北方領土壁新聞づくりが行われ、全体発表のあと、二・ホ・ロにおいて展示（鑑賞）されました。どの作品も今回の視察や元島民の講話などの学習の成果を生かし、思い切った発想で表現された中学生・高校生らしい作品が勢ぞろいし、教育指導者の皆さんも感心しながら見入っていました。



北海道議会北方領土対策特別委員会と根室管内5市町及び

関係団体等との意見交換会が開催されました。

9月1日、北海道議会北方領土対策特別委員会（布川義治委員長）14名と根室管内5市町及び関係団体との意見交換会が二・ホ・ロ交流ホールで開催されました。

北方四島交流事業のさらなる深化のための、経済分野を視野に入れた交流や、北方領土隣接地域の産業振興策、北方領土出前講座などについて質問や意見交換がなされました。

また、意見交換会終了後、特別委員会の皆さんは、二・ホ・ロ館内を視察されました。



平成23年度 北方領土ゼミナールが開催されました。

9月6日・7日、北方領土問題対策議会が主催する「平成23年度 北方領土ゼミナール」が、ニ・ホ・ロをメイン会場に開催されました。

全国の大学生を対象とするこの事業には、北海道から沖縄の各大学に籍置く学生41名が参加し、日程1日目の9月6日には、納沙布岬を視察し、元島民の講話を聴いたのちにニ・ホ・ロにて、北海道大学名誉教授 木村汎氏、並びに元外務省欧亜局長 兵藤長雄氏の講義を受講。講義を通じての質問や自分達の役割についてグループ討議をしながら領土問題について学習を深めました。

2日目の9月7日には、講師とのディスカッションや「後継者として私たちにできること」をとりまとめ最後に北方領土に関する模擬試験で日程を終えました。多くの学生がこのような機会を得て、返還運動の後継者が増えることを期待したいところです。



来館者ニュース

北海道倶楽部（H23. 8. 21）



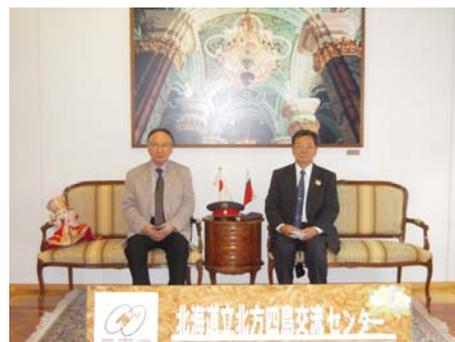
首都圏在住の北海道出身者らで組織する（社）北海道倶楽部（松田昌士会長）の役員4名が根室市を訪れ、地元自治体や経済界、元島民らと懇談しました。

このうち、二・ホ・ロには、岡村副理事長と本田事務局長が訪れ、千島歯舞諸島居住者連盟根室支部の役員らと意見交換を行うとともに、二・ホ・ロ館内を視察されました。

この様子は、同倶楽部の機関誌でも紹介されました。



（社）北海道倶楽部では、北方領土返還の意識を高めること目的とし、日常会話に登場する返還運動にするため、話題のきっかけとなる「ブラウンバッジ」を頒布する事業を行っています。



福岡大学（H23. 8. 25）



福岡大学の学生28名が、北海道での夏季セミナーの一環で、二・ホ・ロを訪れました。

福岡大学の皆さんは、昨年に引き続きの来館です。北海道北方領土対策根室地域本部職員の北方領土問題についての講義のあと、二・ホ・ロの高橋専門員の講話を聞き、館内を見学しました。

説明員の解説にメモをとりながら、熱心に耳を傾けていましたが、見学終了後も、予定時間を越えてたくさんの質問をされ、北方領土問題に対する見識を深めていたようです。





中京大学の古川教授とゼミの学生20名が、「北方領土を目で見る運動」の一環で二・ホ・ロを訪れ、北方領土問題について学習しました。

根室市の北方領土対策課職員らに対し、北方領土返還要求運動の具体的な取り組みや四島の現状に対する地元の認識、ビザなし交流の成果と課題などについて多くの質疑を行った後、元島民の講話を聞き、その後、元島民で組織する千島歯舞諸島居住者連盟根室支部の役員と意見交換を行いました。

この事業を活用して、全国各地からたくさんの皆様が来てくれることを期待したいものです。



石川県民会議（H23. 9. 1）



北方領土返還要求運動石川県民会議の皆さん9名が、二・ホ・ロを視察されました。

はじめに、択捉島の元島民である鈴木咲子さんより、当時の島の様子や現在の島の状況などについての講話を聞きました。

講話の中で、北方領土の漁場開拓に石川県出身者が大きく貢献されたことなどにも触れ、この地域との深い係わりについて改めて確認できました。

北方少年少女塾

夏休みも終わり、「北方少年少女塾」も再開しました。

根室管内の小中学校の児童生徒も北方領土返還運動の後継者として、熱心に勉強しています。

《8月25日 中標津町西竹小学校》

みなさん講話や館内の説明を一生懸命メモしていました。



《9月6日 中標津町計根別小学校》

学習の様子を学校のホームページで紹介してくれました。
ありがとうございます。



《9月8日 別海町野付中学校》

みなさん静かに講話を聞いていました。
是非、また来てください。



《9月9日 標津町標津中学校》

たくさんの良い質問をいただきました。
ありがとうございます。



二・ホ・ロ付近では、キリギリスの鳴き声が響きわたり、
台風の過ぎ去った空気は澄んで、秋を感じさせます。
二・ホ・ロは10月末まで毎日開館しています。

